



friendship force TOKYO

ニュースレター第139号

フレンドシップフォース東京

2024 年 11 月

“a world of friends is a world of peace”～FF の理念～

副会長 田中浩代

東京で史上最も遅い真夏日を記録した 10 月 19 日に東京クラブの主催で第 33 回 FF 日本大会を品川で開催した。出席者は高雄クラブ（台湾）含めて 23 クラブ総勢 173 名。ご出席の大勢の皆様方に感謝すると共に、ご協力いただいた東京クラブの皆様方に厚く御礼申し上げます。大会の準備は約 1 年半前から開始したが、理事でも日本大会経験者は半数以下で手探りの状態であった。200 名規模の会場は常連優先で探すのに苦労した。今年 4 月には、クラブ一丸となって取り組むため新旧会員の組み合わせで 8 つの系の準備委員会を設立し、以降は各系の担当の方々に詳細な検討を進めていただいた。

受付や懇親会の混雑の緩和、全体会議の演者の方々（石井氏、小泉氏、金元氏、大西氏）との連絡や参加クラブ紹介、グループ討議のテーマを巡って FR の方々との意見交換や司会書記の配置、限られた予算でのお土産検討、栞作成、広報、会計など、全てにおいて出席された全クラブの皆さんに「参加して良かった」と思ってもらえるようにという気持ちの表れであったと思う。

当日の詳細は後日発行の NL 特集号に譲るが、とても意味深い、貴重な体験となった。もう少し配慮の必要な点はあったが、幸いにも翌日のオプションも含めて大きな問題はなく、各所からご好評を頂いている。

当日の想定外の事案も、司会者の方々のアドリブを効かせた進行で乗り切ったり、会場の案内や全てのグループ討議の司会と書記を担当するなど、皆様のご理解とご協力により東京クラブの底力が発揮されたことは本当に素晴らしい。

東京クラブとして笑顔と一生懸命のおもてなしの心で、FF という同じ想いを共有する会員が相まみえる場を作れたことはとても有意義であったし、この対応を通じて東京クラブのまとまりが更に深まったように思う。オンラインは便利だけど、やはり対面に勝るものはない。今回素晴らしい体験が出来たので、この喜びを出席出来なかった人達にも伝え、大勢の皆さんで、共に「広げよう・深めよう・楽しもう」の続きを次回の長崎での大会にも繋げましょう！本当にありがとうございました。

かけはし

2018年孫が小六の時に、一緒にお茶を習っている方が「今年の夏孫と二人でホームステイに行くのよ」と、私は「そんな事できるの？私も孫に聞いてみる」と早速孫に話したら「是非行ってみよう」と中一の兄も便乗し三人で参加したことが、FFとの出会いでした。▼七日間のアメリカのオハイオ州デイトンでは、とにかく何もかもが初めての事で十三時間の飛行後にデイトン国際空港でホストのお出迎えにほっとしました。孫二人は広い庭でのサッカーや友人宅でのプールに大喜びでした。▼翌年の夏もデイトンに行くことになり「今年もFFで行くことになりました。お会い出来るとうれしいです」と連絡したところ、「是非我が家にいらしてください」と返事を頂き、大変お世話になりました。▼その後、クロアチア等に渡航し、今度は近所の方と一緒に行くことになり今手続きをしているところでも楽しみです。(S・K)

ルーヴェン (ベルギー) 渡航

8/16(金)～8/22(木)

アンバサダー:10 名

AC:田中浩代 AAC:神吉節子

堤由紀枝、大貫忍生、島田信子、田中裕海、
野村真理子、水野正夫、水野幸子、水上恵子



ヨーロッパのベルギー

田中浩代

今回の 10 名での Leuven クラブ渡航の特徴は、

- ① 同クラブの受入を 3 月に行った:懐かしい方々にもお目にかかれ嬉しかった
- ② ご好意でフラワーカーペット後の日程に調整:交流前にビッグイベントも楽しめた
- ③ 2020 年の再企画:4 年前に新型コロナでやむを得ずキャンセルしてからの念願の渡航

今回私は初めての AC で、Leuven クラブの HiRo 彩霞さんにお電話や帰国時には助言等いただき大変助かった。深謝!

Leuven はブリュッセルから東に電車で 30 分程の位置にあり、大学や教会、市庁舎など古い建物が立派な、歴史を感じさせる素敵な街であった。交流は、電車でアントワープやブルージュなどの国内各地を訪問する心配りのプログラムであったが、各地での案内表示は蘭語、仏語、独語、英語と多言語であった。地続きの周辺国からの影響を受けて来たかの国の歴史を実感すると共に、その中でベルギー人の誇りを語るホストのクリスの姿が感慨深かった。ハプニングはあったが、今回も良い交流であった。ありがとう。

奇跡のような日々

野村真理子

夢のようなベルギーでのホームステイ、街はどこもきれいで、絵画や映画の中にいるようでした。

ホストの Martine さんは2ひきの猫が家族。私まで猫好きに。愛馬にも会いました。フリーの日には、Chris さん Michel さん、田中ご夫妻と合流。ディナンのシタデル(城塞)から下を見ると、街を流れるムーズ川に沿って美しい街並みが見えました。昼食は Michel さん手作りのキッシュ、夕食は Michel 宅の庭でスパゲッティをごちそうになりました。外はいつまでも明るく心地よい風が吹いていました。

ムール貝の山、フラワーカーペット、巻き寿司大会、びしょ濡れの運河クルーズ、楽しい思い出です。



ルーヴェン（ベルギー）渡航

あっ、パスポートが・・・！

水野幸子

そう、パスポートをすられたのだ。
ベルギーで。十分注意していたつもりだったのに。たぶん電車の乗降口に沢山の人が集中した瞬間を狙われたのだと思う。ホスト宅への帰宅が遅くなったので、翌日朝イチで日本大使館へ行き、指示された通り警察署で盗難届を出してパスポート写真を撮った後再度大使館へ。



それからがまた大変で、身内に戸籍謄本を取ってもらい、その写メをまず大使館に送ってもらう。原本を大使館あてに郵送する為の送付状も写メしてもらわなくてはならない。幸い弟が近所に住んでいるので、マイナンバーカードの保管場所と暗証番号を教えてコンビニで取得してもらえたが、コンビニで取る時も役所と同じ17時迄で、6分過ぎていてその日はアウト。日本とは7時間の時差もあるし取得後それを郵送する準備もある。EMSという国際スピード郵便の送付状が確実だとわかり、その送付状を写メ。大使館が2つの写メをみてOKを出してくれなければパスポートは再発行されない。様々な不安で眠れない。予定では翌日アムステルダムに移動することになっていたが当然それは無理。

書類も沢山書かされたが不幸中の幸いで土日を挟まずに手続きが完了し、盗難の3日後には緊急でパスポートが発行された。ホストの方には実にお世話になりご迷惑をおかけしたが凄く助かった。災難とはいえパスポートを失う大変さは半端なく、旅行中は肌身離さず身につけることをお勧めする！スリ被害は不幸だったが、2年に1度のフラワーカーペットは実に美しかったし、男性ホストの暮らしぶりや行動力にはとても刺激を受けた。

ベルギー渡航はFFのホームステイの素晴らしいさを私達夫婦に再認識させてくれる旅となった。





2025 年 渡航・受入



【渡航】 2/11-17 高雄(台湾)

予定されている高雄クラブとの交流内容は、

- 台湾先住民文化公園(広大なテーマパークで台湾の 16 の先住民族の文化や伝統を体験)
- 佛陀記念館(仏教の総本山寺で高雄在住の人々からも人気、そこで灯籠の見学を予定)
- 蓮池潭(池を中心とする蓮池潭風景区を見学)
- 高雄湾(台湾を代表する港湾)などその他にもたくさん予定されている。



【受入】 3/27-4/2 ウェスタンコロラド(USA)

ウェスタンコロラドには、2024 年 6 月に東京クラブと奈良クラブの 2 名が加わり計 10 名で渡航したばかりで記憶に新しい。どこまでも砂漠と巨大な岩の風景にゆったりとして時間の流れを満喫できる。真逆のような環境の東京で、満開の桜を堪能してもらいたい。

【受入】 10 月末～11月上旬 ノールペルー(ペルー)

ペルーの北部に位置するノールペルーの情報は少なく、クラブの Facebook から今年の 5 月に会員が集まってビンゴを楽しんでいる姿が閲覧できる。北部ペルーには 2 大観光地としてチクラヨとトルヒーヨの都市があり、チクラヨでは、ピラミッド郡が残る「トゥクメ遺跡」とモチエ&シカン文化の貴重な博物館が存在する。トルヒーヨには、チムー王国の首都「チャンチャン遺跡」と、モチエ文化の 2 大遺跡「太陽と月とワカ」と「エル・ブラホ遺跡」が存在する。

【渡航】 9/11～25


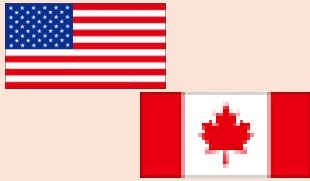


ロングアイランド(USA) & グレーターハミルトン アンド バーリントン(カナダ)

ロングアイランド(USA)は 1995 年に設立。2023 年 1 月時点の会員数は 31 名。旅程はアクティビティが満載の日々と、ホストとアンバサダーで自由に計画できる日が必ず 1 日盛り込まれる。グループアクティビティには、歓迎ディナーまたは朝食と送別ディナー、会員が主催するミックス&マッチディナー、ホストの自宅でのディナーなどがある。アンバサダーはビーチ、博物館、歴史的な名所、庭園、農場、ブドウ園などロングアイランドの観光スポットを訪問する。



グレーターハミルトン アンド バーリントン(カナダ)の会員はハミルトンとバーリントンや近隣地域出身者で構成されており、20 年の歴史がある。地域はオンタリオ湖の西端に位置し、ナイアガラの滝やトロントから 1 時間以内という便利な場所である。生物圏保護区であるナイアガラ断崖がこのエリアを通っており、800km のブルーストレイルの一部ではハイキングコースから素晴らしい景色を楽しめる。



2025 年 渡 航		2025 年 受 入	
高雄(台湾)	ロングアイランド (USA) & グレーター ハミルトン アンド バー リントン(カナダ)	ウェスタンコロラド (USA)	ノールペルー (ペルー)
2 月 11 日～17 日	9 月 11 日～25 日	3 月 27 日～4 月 2 日	10 月末～ 11 月上旬
			
AC 安達京子 AAC 作田多香子 アンバサダー18名	AC 岡田万里子 AAC 堤由紀枝	HC 神吉節子 AHC 鎌田昭子 ホスト募集中	HC 鎌田昭子 AHC 加藤光子

新入会員の自己紹介



★矢澤千津江

3月のバス旅で柏原さんと出会いました。東京フレンドシップの話をお聞きし、思わず私も入りたいと思いました。家も近い、同じ年で話題も豊富。フレンドシップも、豊かな人生

になるかも～。築地本願寺散策で、お会いした方々、明るくて、更に築地の魚介も美味しかった。これからのいろいろな体験に、気持ちがわくわくしています。足手まといになりそうな予感がしますが、皆様よろしくお願ひします。



★内田敦子

自分の視野を広め、英語のスキルアップを目指して、8月よりFFに入会しました内田敦子と申します。

趣味は、旅行、ゴルフ、琴、ジムでのダンスなどです。特に、ゴルフは主人や友人とラウンドを楽しんでおります。主人の仕事の関係でタイ、インドネシアに住んだことがあります。色々な経験を生かして国際交流に貢献出来たらいいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

2024 年度総会について

本年度の総会は、開催場所、曜日が例年とは異なります。詳細は別途ご案内します。皆様奮ってご参加ください。

日程：2025 年 1 月 25 日 (土)
場所：かがやきプラザ (九段下)
会議室 2・3
懇親会場：喜山倶楽部

おしらせアラカルト

- ◇ 9 月に予定していた地区懇親会の銀座コース散策は延期になりました。
- ◇ 11/4 (月) に神奈川地区懇親会が開催。江ノ島散策や邦楽演奏 (お琴) を堪能しました。

【編集後記】

日本大会の宴もたけなわ、キラキラ光る人を発見。満面の笑みをたたえた人でした。気付けば会場にあふれる、それも極上の笑顔でした。笑顔は口ほどにものを言う。実感！